

令和6年度 一宮市立丹陽小学校 教育目標

(1) 本校の教育目標

児童の能力と特性を生かし、心豊かにたくましく生きる丹陽の子を育成する。

めざす児童像

○ よく考え行動する子 ○ 思いやりのある子 ○ 丈夫でたくましい子

「笑顔 元気 心をこめて」を合言葉に、学校・家庭・地域が連携して育てる。

(2) 経営方針

全職員が、共に学び合う「学びティーチーズ（まなティー）」の合言葉のもと、共通理解と協力体制を基盤とし、職員、児童、保護者、地域が信頼関係で結ばれた「魅力のある信頼される学校づくり」を推進する。

- ア 学力向上を目指し、言語活動を充実させた協働的な活動をすすめることで、児童が自らの考えをもち、互いに伝え合い、高め合う授業を構築する。
- イ 自他の命や自然を大切にする心の教育を通して、豊かな人間性を育てる。
- ウ 体力の向上や望ましい生活習慣の定着を図り、健康な生活を送るための基礎を育てる。
- エ 校内現職教育の充実を図り、自律的継続的な学びをすすめ、教員としての資質の向上に努める。
- オ 温か味のある風通しのよい教育環境づくりに努め、職員が働きがいを感じられるようにする。
- カ 学校運営協議会を核として家庭や地域と連携・協働して、地域とともにある学校づくりを推進する。

(3) 本年度の重点努力目標

ア「確かな学力」の育成

- ・基本的な学習のルールやマナーを身につけさせ、学びに向かう姿勢を育てる。
- ・「聞く」「話す」「読む」「書く」「考える」等の場面を明確にし、発達段階に合わせた話法をもとに発言や対話、つまずきを大切にしながら、「わかる、できる、身につく授業」に努める。
- ・学びたくなる授業のしかけを工夫し、思考を深め、主体的、対話的に学ぶ力を培う。
- ・キャリア教育や持続可能な開発目標（SDGs）を推進し、社会の一員として自分らしい生き方を実現するための力を育てる。
- ・辞書引きを活用して語彙力を増やしたり、漢字を読み書きする力や計算力を身につけたりするなど基礎学力の定着を図る。
- ・ICT 機器・学習者用PC・デジタル教材等の効果的な活用を推進する。
- ・少人数指導や特別支援教育の充実を図り、個に応じたきめ細かな学習指導に努める。

イ「豊かな心」の育成

- ・児童との関わりを大切に、一人一人を認め、心の居場所づくりを図る。
- ・あいさつや言葉遣いなど、社会的なマナーや礼儀正しい態度を身につけさせる。
- ・相談活動、人権教育・福祉教育・情報モラル教育を充実させ、ふれあい活動やピア・サポートなど児童の相互支援を促す活動を実施し、いじめ・不登校の防止に努める。
- ・道徳科や読書活動を通して、多面的に考え主体的に行動できる心豊かな人間性を育てる。
- ・清掃や委員会、体験活動を通して、健やかに育つ環境を作り、奉仕の心を育てる。
- ・地域を生かした体験学習を通して、日本の文化と伝統に対する理解を深める。

ウ「健やかなからだ」の育成

- ・体育の授業や放課の過ごし方を工夫し、運動や外遊びに親しませ、運動の習慣化を図る。
- ・心と体のアンケートや歯科指導・食に関する指導を重ね、健康な体づくりの習慣化に心がけさせる。
- ・生活安全、交通安全、災害安全などKYTによる具体的な行動場面を設定し、命を大切にして、実際に自ら安全に行動できる態度や習慣を育てる。

エ「信頼される学校づくり」をめざして

- ・学校公開によるアンケートや学校評価を有効に活用し、学校改善を図る。
- ・学校運営協議会を通して、保護者・地域社会からの意見を教育活動に生かし、学校・家庭・地域が連携・協働して特色ある学校づくりに努める。
- ・ウェブページや各種たより等で積極的に情報を発信し、開かれた学校づくりに努める。
- ・働き方改革にかかる業務改善に努め、教職員が子どもたちと向き合うための条件整備をすすめる。